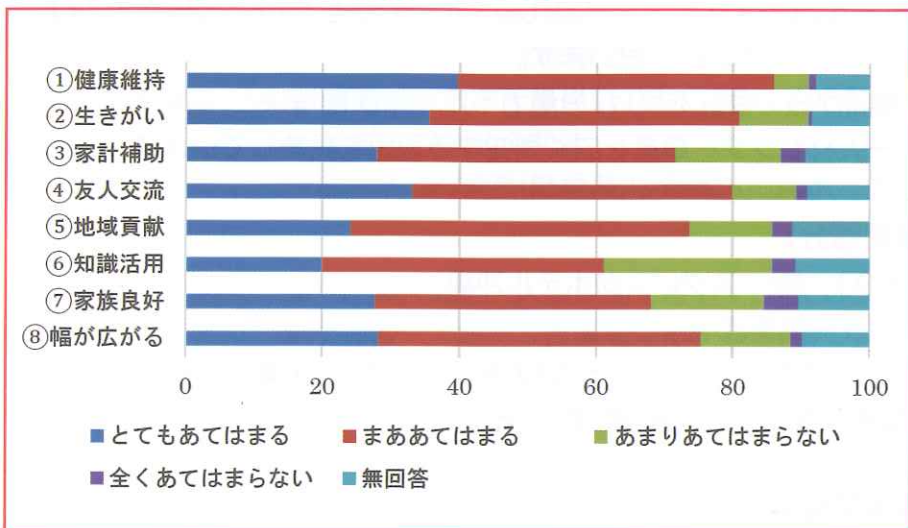


生きがい就業の介護予防効果に関する 共同研究事業結果(第1回)

平成 29 年度に、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団と共同で、県内の 4 シルバー人材センターを対象に、シルバー人材センターでの生きがい就業が介護予防にどう効果があるかを調査いたしました。その結果概要を下記に抜粋して報告いたします。(今後も継続して調査が行われる予定です。)

[会員でいることの意味 (メリット)]

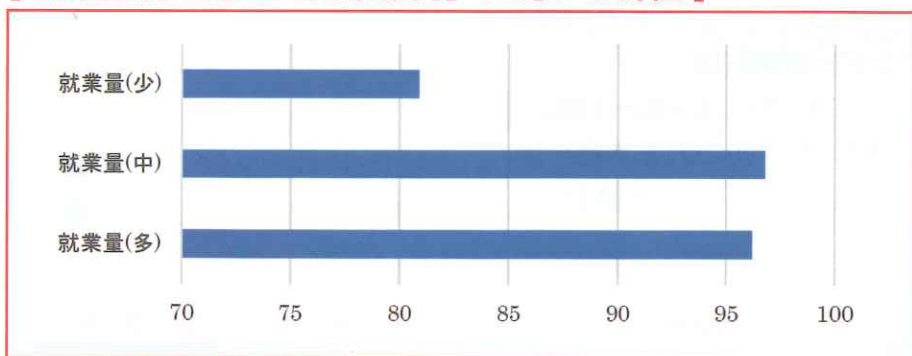


左記の結果から、シルバー会員の多くが、「生きがい就業」による「健康維持」「生きがい」の効果を実感しており、それが介護予防につながる活動(就業)の継続(サイクル)に繋がることが示された。



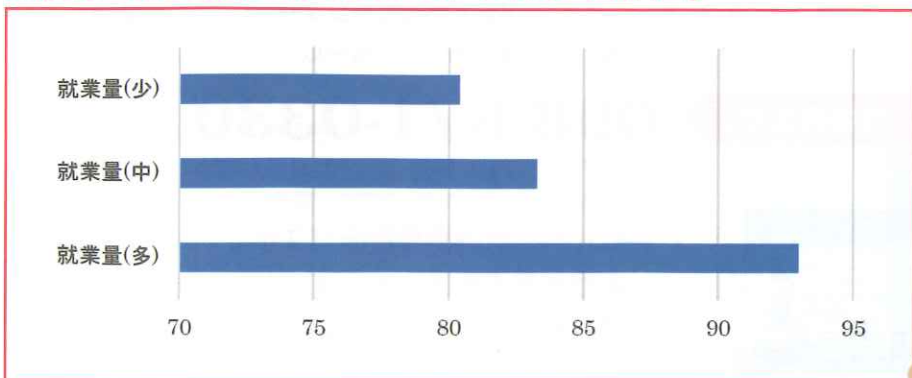
上記で、「健康維持」と「生きがい」に「とてもあてはまる」+「まああてはまる」とした方を、さらに就業量別に見た割合 (%)

[就業量別に見た「健康維持」に対する評価]

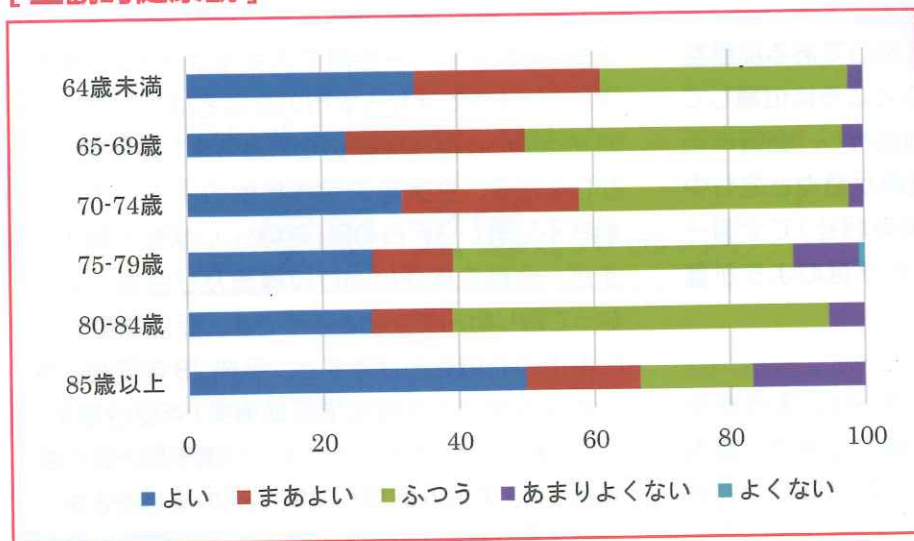


左記の結果から、就業量が多い方が高評価の割合が高まるものの、活動頻度が少なくとも、「健康維持」や「生きがい」の効果や意義を実感する高齢者は多く、個人の希望に応じて活動の機会を提供することが重要と考えられる。

[就業量別に見た「生きがい」に対する評価]



[主観的健康観]



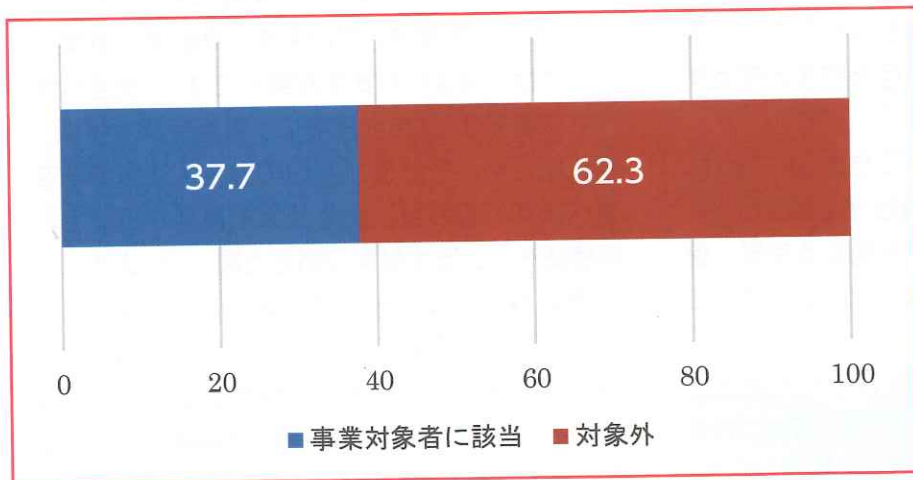
左記の結果により、ほとんどの年代で主観的健康観は「よい」と「まあよい」の合計が4～5割を占め、国民生活調査の結果よりも1～3割程度優れていた。



[介護サービス事業対象者の基準への該当割合]

健康生活アンケートの回答結果に基づき、会員がサービス事業対象者の判定基準にどの程度の割合が該当するかを算出した。

※ここでいう介護サービス事業対象者とは、要支援・要介護状態となる可能性の高い予備軍を抽出するため、厚生労働省が作成したチェックリストに基づき調査を行い、算出しています。



左記の調査結果により、シルバー人材センターは、介護予防・生活支援サービス事業対象者に相当する高齢者約38%の受け皿となり、生きがい就業の提供によって実質的に通所型サービスに該当する機能を果たしていることが分かった。

上記調査結果の一部からもわかるように、シルバー人材センターで活動することにより、会員ご自身が健康や生きがいを実感し、また介護予防にも少なからず貢献しています。

会員随時募集中!

シルバー人材センターでは、随時会員を募集しています。あなたの豊かな知識と経験を、地域社会に活かしてみませんか？ シルバー人材センター設置市町村にお住まいで、健康で働く意欲のある60歳以上の方ならどなたでも会員になれます。ぜひお問い合わせください。

お仕事も随時承ります。

シルバーしごとネット

クリック 

